

青年部が「田舎まるかじりツアー」 都市部児童が庄内の農業と自然を満喫



▲歓声をあげながら泥んこバレーを楽しんだ

JA青年部は7月31～8月2日、都心の小学校児童を対象に「田舎まるかじりツアー2017」を開催しました。青年部が最も力を入れている食農教育活動の一環で、今年で27回目。「上京運動」で交流を深めている小学校4校から、5年生児童や保護者18人が参加しました。ツアーでは庄内メロンの選果場や、カントリーエレベータ、無人ヘリコプターのデモフライトなど見学し、バーベキューや民泊も体験。他にも田んぼで遊ぶ「泥んこバレー」では、足をとられ泥だらけになりながらも、笑顔で土の感触を楽しんだりして、青年部との交流も深めながら、庄内の農業と自然を満喫し、夏休みの思い出作りをしていました。

農機具・資材が一度に集結 合同展示会「サマーフェア2017」開催

同フェアは秋の繁忙期前に、農機具や資材を実際に見て触れる機会を設けようと毎年開催しています。酒田地区の開催日はあいにくの大雨となりましたが、多くの人が来場。メーカーやJA担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。来場した人は「さまざまな商品の実物を見てその場で質問できるので、来てよかった」と話していました。

当JAと(株)みどりサービスは7月20日に遊佐地区、22～23日に酒田地区、25日に八幡地区で合同展示会「サマーフェア2017」を開催しました。農機具や資材メーカー、生活用品メーカーなど約32社が参加し、4日間で1085人が来場しました。



▲JA担当者の説明を聞く来場者たち

船旅で初夏の北海道を満喫 につぼん丸クルーズに106名参加



▲五色のテープが舞う中、北海道へ向け出港

につぼん丸で行く「北海道東クルーズ」の旅が7月8日～10日の日程で行われ、当JA管内からは106人が参加し、初夏の北海道釧路港までの往復2泊3日の船旅を満喫しました。主催は農協観光。につぼん丸は朝9時に酒田港を出港。酒田市の歓迎セレモニーの後、五色のテープが舞う中を静かに離岸し、釧路港へ向け一路日本海を北上。丸一日かけて翌朝9時に釧路港に着岸しました。

「3日間とも好天に恵まれ、船旅ならではの仲間との楽しい時間が過ごせた。また、来年も参加したい」と参加者たち。ゆっくり流れる時間と船窓に移り変わる景色を眺めながら、思い思いに船旅を楽しんでいました。